

かいこの里便り

郷土の偉人

【あらためて守国さん】

大河ドラマ「せごどん」の主人公、西郷隆盛の顔が、教科書のものとは違うかもと、話題になりました。上垣守国の顔は肖像画などなく、知るすべもありません。「石を投げる」と『上垣』に当たる。」と言われるほど上垣姓の多いわが村の、おじさんたちの顔から想像するしかないのです。顔はわからずとも、村の人は、親しみを込めて「守国さん」と呼びます。

業績を残しています。

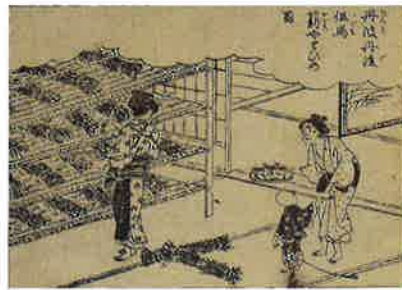
十七歳の時に、養蚕先進地の群馬や福島に蚕種（蚕の卵）の買い付けに行き、その後何度か訪れています。

それは、蚕種の良否が生糸の品質を大きく左右したからなのです。雪が深く農業だけでは生活の厳しい当地方にとって、養蚕は現金収入を得られる重要な産業でした。守国さんは、増やした蚕種を広め、

自分でも製造し、桑園の技術指導も熱心に行っていました。

その集大成として、一八〇三年に「養蚕秘録」を出版します。当時としては画期的な内容で、蚕の飼育法、繭から糸をとる方法、種の製造まで緻密に、絵入りで解説され、字の読めない農民でも分かりやすく記されています。

す。京都・大阪・江戸でも発行され、その技術は全国に知れることとなりました。



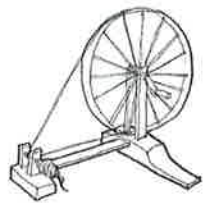
その価値を知った、医師シーボルトが本をオランダに持ち帰りまします。当時欧州では、養蚕が盛んでしたが、蚕の病気がはやり、農家が大打撃を受けていました。「養蚕秘録」は翻訳され、その技術が生産改善に役立ち農家を救いました。日本の技術輸出の第一号といえるでしょう。

発行：兵庫県養父市大屋町蔵
かいこの里の会
☎ 079-669-1580
facebook
「蔵垣かいこの里」
で検索! 「いいね!」をお願いします!

守国さんは、経営者・技術者・研究者として、優れた頭脳と広い視野で養蚕業の発展に大きく貢献しました。明治以降の日本の近代化にも大きく影響を与えています。

墓石には「不遠千里往来」と刻まれています。「千里の往来も遠しとせず」の意味です。現代のような交通機関のない時代に、ふるさとの現状を改善しようと、遙か遠くを訪ね、学び、研究したその姿が臉に浮かびます。そしてその顔を一目...と思ふのです。

かいこの里では、蚕が一番活発なこの時期にかいこウィークを開催しています。この時期、この施設ならではの貴重なワークショップへ是非! 詳しくは裏面を。



かいこウィークが始まります!
年に一度の貴重な時間。かいこさんと出会う!糸引き体験ができる!
6月6日(水)~10日(日)
草木染め・手織り
澤井まゆみ 作品展 開催

★十日の催し★

屋台村

クレープ屋さんSinks

中瀬金山焼き

唐揚げ ウイズ

おおや市

スイーツ le Fleuve

その他

お食事処かいこ亭

桑うどん ¥500

日替り定食 ¥700

九日 大福 ¥250

十日 コロッケ

三個入り ¥350

★十二時から★

お楽しみステージ

♪吹奏楽

大屋中学校吹奏楽部 & ウインドメーカーズ

おおや 合同バンド

♪ダンス

ロ大屋スポーツ

クラブ21 えむきつと

♪スティールパン

ビッグルーパンス

♪太極拳

★十五時から

ふるまい餅つき大会

*体験できます

(無料)

先着100名様に、まゆをプレゼント

